

412支保工を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労働 者規 模
1	2017	10	16~ 17	橋梁災害復旧工事現場にてA2橋台仮締切内（高さ0.9m）での捨石投入、敷均・水中ポンプ（2インチ）設置の作業を行い、他作業員の作業終了の声とともに仮締切内から上がった際に、鉄骨製切梁（高さ1.7m）に頭部を強打し、そのまま仮締切内に転落、負傷したものの。	67	3	30105	30~ 49
2	2017	8	13~ 14	被災者は、同僚と4名で、1階立上りの型枠組立を行っていた。被災者が、サポートに立てる準備をして、クレーンで吊った梁型枠が柱型枠に納まるのを待っているとき、梁側の角パイプが柱型枠に当たって、梁型枠が納まらなかったため、壁型枠をよじ登って壁型枠の上から吊った梁型枠の角パイプをハンマーで叩いて、位置調整をした。その後、バランスを崩して約3.85m下の地面に墜落した。	38	1	30201	1~9
3	2017	8	11~ 12	新築工事現場で、基礎型枠組立作業中に、基礎梁筋上に置いてあったサン木（12尺×10本）の束を下ろそうとして、建て込んだ型枠に添えていた自分の左手首に、当該サン木の束が落下して、負傷した。	56	7	30201	30~ 49
4	2017	7	10~11	工事現場にて管路掘削作業中、簡易土留の設置作業を行っていたところ、1段目と2段目の鉄板の接続作業時に連結金具がうまく連結しないためバールで調整中、左手が1段目と2段目の鉄板の間に挟まり中指、薬指を骨折した。	63	7	30110	1~9
				旧発電機で、電気配線用ピットの型枠組立作業中、型枠内に				

5	2017	7	11~12	あった延長コードを取りに行くため、高さ60cmの型枠をまたぐ際、後ろ足を固定用金具に引っ掛け体勢を崩し、型枠を固定していた鉄筋に脇腹を強打した。	59	2	30302	10~ 29
6	2017	7	14~15	事務所敷地内にある作業場において、排水柵を制作するためにコンクリートを流し入れた枠を取り外す作業をしていたところ、足を滑らせ転んだ時に手をつき左手中指及び薬指を骨折した。	18	2	30199	1~9
7	2017	6	8~9	2階のスラブ貼り作業にて、仮置きしたベニヤ板を釘で留める際に、バタ角の上のベニヤ板に上がったと同時にベニヤごと滑り、1階土間へ横向きに落下した。	63	1	30201	30~ 49
8	2017	5	8~9	トラックで商品を配送に行き、トラックから降ろしたカゴ台車を店内に運ぶ作業中、店のスロープ（上り勾配）を、台車を押して上がっていたところ、左ふくらはぎから激痛があり、その場で動けなくなり、左腓腹筋捻挫症、左足関節を捻挫負傷する。	59	1	30201	1~9
9	2017	2	15~16	当該現場において、下水道管の布設工事のため約2m地面を掘削した床面にて、管を繋ぐ作業をしていた。土留めのため側面に渡してある切梁サポートの管があったが、ちょうど頭の上にあったことを忘れ、作業直後に体を起こした際後頭部付近を強打し、首を痛め負傷したものである。	73	3	30199	1~9
10	2017	2	10~11	土留支保工材を組立中に、誤って左手の上に落とし、薬指と小指を負傷した。負傷後すぐに病院にて受診した。	53	4	30199	1~9
11	2017	2	10~11	ヘルメット、軍手を着用の上、車庫内部天井の型枠解体作業中、天井と地面（高さ1.8m位）を支えているサポート（ジャッキのようなもの）を手で緩めたところ天井から単管と角材が落下し避けようと身体をよけたが、左手に落下物が当たり左手親指を骨折してしまった。	65	4	30209	—
				浄水管線NO.1送電線鉄塔基礎掘削作業現場において、重機に				

12	2017	1	15～ 16	よる掘削作業（下段支保工設置部）が終了し、土作業員による整地を開始したが異音と共に土止め矢板が傾きはじめ、支保工を繋ぐボルトが抜けて連鎖的に土止め矢板が倒れてきたため、作業員待避を掛けるも間に合わず、被災者が土止め矢板と鉄塔基礎の間に挟まれて死亡した。	50	5	30199	1～9
13	2016	12	9～ 10	東棟7階にて、8階壁枠スラブ貼りのため根太を並べ終わった被災者は、梁をつたって壁から降りようとした際、足を根太にかけたところ根太が動き、バランスを崩してしまい、高さ約3メートルから7階スラブに転落。その際に左手を着いたため、左ひじの筋肉と腱を挫傷した。	31	1	30201	1～9
14	2016	12	11～ 12	高さ1.8m基礎解体型枠を組み立て中に、先組みされた鉄筋をかわすため、型枠組み立て用の作業足場の上から荷受けをしていたところ、バランスを崩して足場から転落した。その際、先組みされた鉄筋で腹部を打撲した。	44	1	30202	1～9
15	2016	11	8～9	現場で、基礎・地中梁の鉄筋組み立て作業中に、別のスパンに移動する為、組み立て途中であった小梁底型枠を乗り越えようとした時、型枠支保工は、組み立て途中で下部のサポートポストが無い箇所のバタ角に足をかけたため、止めてあった釘がはずれ体勢を崩し着地の際に右足を負傷した。	56	9	30201	30～ 49
16	2016	10	12～ 13	R階スラブ生コン打設中、突然スラブ部が抜け落ち、約4.5m下の5階フロアーに墜落した。	51	1	30201	—
17	2016	10	10～ 11	3階大梁型枠上でスラブを貼る為の大引き掛けで作業中、大引きに左足をかけバランスを崩し、高さ2.6mから2階スラブ上に墜落した。	36	1	30209	10～ 29
18	2016	10	14～ 15	建設工事現場の反応タンク底板部で、型枠材料の吊り下し作業の合図を行う為に仮組立中の型枠の前で立っていたが、その際誤って型枠鋼管の一段目に足をかけた為、型枠が倒れ、そのはずみで被災者も倒れ、後方にあったパレテーナに背中	57	5	30209	1～9

				を強打した。				
19	2016	8	13～ 14	被災者が2尺柱横で解体した梁底の釘を抜く作業をしていた所、柱に立てかけてあったサポート5本が倒れその内の1本が被災者の頭、左肩に接触、また別のサポートの皿部と土間との間に左示指がはさまれ被災した。	64	5	30201	1～9
20	2016	7	9～ 10	型枠支保工組立作業中、パイプサポートを立てた状態で持って横移動した際に、サポート上部の受版がフォームタイに引っかかり、反動で上部の補助サポートが抜けて落下し、そのサポートが右足甲部付近にあたり、指の付け根を受傷した。	47	4	30201	1～9
21	2016	7	17～ 18	屋上、鳩小屋上で配筋写真を撮影完了し降りようとした際、着用していた軍手が型枠セパレーターの先端に絡みつき、そのままの勢いで降りたため右手掌をえぐった。	42	8	30201	50～ 99
22	2016	7	8～9	1階擁壁の立ち上り生コン打設工事用の配管を設置していた。外部足場と擁壁の間を配管していた際、移動のために型枠支保工をまたいだ際、支保工に足を載せて乗り越えようとして立った時、足が滑って、耐圧盤に転落した。転落の際、左肋骨を足場に強打した。	42	1	30201	30～ 49
23	2016	7	15～ 16	雨水管布設工のマンホール設置個所の掘削土留作業中、バックホウにて一次掘削完了後、簡易土留材建て込み作業において、レール設置後パネルを建て込む間に、レールが傾きはじり、それを被災者が咄嗟に押さえてしまいレールと共に倒れ、負傷した。	41	5	30106	10～ 29
24	2016	6	10～ 11	基礎工事中、レベラーを取りに行くのに基礎を跨ごうとして手を型枠についた時、手が滑り肩がねじれ負傷。	34	3	30201	1～9
				18階床スラブ貼から昼休憩の為、下階に降りる時、型枠補助材に手をかけて、壁型枠の角鋼管を足掛かりとして降りるつ				

25	2016	5	12～ 13	もりで、補助枠に体重を預けた時、補助枠が釘とともに外れた。長靴をはいていた為、左足が壁型枠と鋼管に入り込み、抜けるのが遅れて、1.6M下のコンクリート床に転落した。その際、左足かかとを強打した為、骨折した。	49	1	30201	50～ 99
26	2016	5	16～ 17	梁型枠の側パイプ締め付け作業中に、誤ってサポートのついていない梁底のバタ角に足をかけてしまい、高さ3.2mから下部にあった台ノコに落下し、3F床に転落した。	64	1	30201	10～ 29
27	2016	4	9～ 10	工事現場に於いて、外壁型枠セパレーター金物締め付け調整中に、地面から高さ約1mの横端太単管パイプに足を掛け作業していたところ、足元が滑りバランスを崩し、地面に左足踵で着地した際、負傷した。	54	1	30201	10～ 29
28	2016	3	11～ 12	仮締切内部で引板支柱設置時、2段目腹起し上より、約4m下に転落し被災した。	42	1	30105	30～ 49
29	2016	3	15～ 16	躯体立ち上り腰壁で、建物内部側から、腰壁コンクリートを打設する作業中に、打ち終る最後に、ポンプ建てホース内の残コンを型枠内に納めきろうとして、残コンをスラブ上に落とさないようにするため、型枠の上に登り、外側には外部足場が無い状態であった。ポンプのホースに引っ張られた反動で腰壁の型枠上から高さ3mの基礎下堀削部の捨コン上へ墜落し、左手首と左肩を負傷した。	61	1	30201	30～ 49
30	2016	2	13～ 14	被災者は躯体2階部にてスラブ解体作業を行っていた。スラブの根太鋼管を抜き取る前作業として、根太鋼管を支える大引を、端部側一列を残しその他の大引を取り外す為、一人で支持しているパイプサポートを緩めた際、支持されていた大引が落下。そのはずみでパイプサポートが倒れそうになった為、咄嗟にパイプサポートを掴んだ際、掴んだ左手に落下してきた大引が激突し負傷した。	63	4	30201	10～ 29
				被災者は、作業後の飛散防止養生ネットの結束状況等の点検				

31	2016	2	18～ 19	の為に現地に向かった。既に日が暮れ、視界が悪い状況でスラブ上を歩行している時に、正面方向にあった小梁段差に気が付かず左足を踏み込んだ。その際、左足を負傷した。	55	2	30201	1～9
32	2016	2	11～ 12	作業所内において地下1階ドライエリアで鉄筋作業の切断をしているとき、ドライエリア床開閉部をスラブ型枠で作業床としていたが、型枠解体工がスラブ型枠の支保工の解体をしてベニアだけが残っている状態のところに、立入禁止処置がされていなかったために、知らずにベニアに乗ってしまい、ベニアがぬけて墜落した。	35	1	30201	1～9
33	2016	1	13～ 14	工場にて、柵工枠を打設後、仕上中コテ撫で時に、本人が型枠の上からバランスを崩した為地面に飛び降りて、左膝をコンクリート地面に強打した。	65	1	10901	30～ 49
34	2015	12	11～ 12	橋台工施工現場で、被災者が堀削内へとはしごを使用して下部へと降りて清掃作業を行おうとしたため、上部へ戻るよう指示した。再びはしごを使用して上部へと登ったが、はしごを登り切り、腹起しの上に立った状態でバランスを崩し、約3.5m下の腹起し上へと落下した。	46	1	30105	10～ 29
35	2015	8	13～ 14	型枠を足で踏んでしまい、はね返ってきて、額に当たった。	36	3	30201	50～ 99
36	2015	8	11～ 12	梁底型枠部において、地組した梁鉄筋を取り付ける作業に従事していた。移動しようとして、パイプサポートで支持していない梁底大引用端太角の張り出し部分に足を掛けてしまい、バランスを崩して転落（約2.9m）して受傷した。	65	1	30201	50～ 99
37	2015	7	11～ 12	1階の梁底型枠解体工事において、解体中の支柱サポートがたおれてきて、近くで作業していた被災者の足首に当たった。	30	5	30201	1～9
38	2015	7	9～ 10	排水路の二次埋戻し作業の手元業を行なおうとし、スコップを取りに行くため山留用切梁ジャッキの上に足を掛け移ろうとした足を滑らせ、股間を強打した。	67	1	30201	30～ 49

39	2015	6	7～8	製品が乾燥するまで覆っていたシートを外すため、型枠の足場（高さ約50cm）を何度か昇降していて、降りるときに誤って足を滑らせ落下し、その際腰部を強打し負傷した。	67	1	10901	10～29
40	2015	6	11～12	コンクリを流し込む型枠から飛び出している締め付け金具に足が引っかかり転倒し、右膝を強打。	58	2	10901	10～29
41	2015	5	9～10	スラブの型枠支保工の解体を3名で行っていた。2名は実際の型枠の解体を行い、1名は解体した資材の運搬集積を行っており、その際にパイプサポートがゆるみ、倒れて被災者の頭（ヘルメット）に当たった。	26	5	30201	1～9
42	2015	4	15～16	河川護岸ブロック積工事における仮締切工（延長32m、幅4.4m、深さ5.8m）施工箇所において、1段目支保工から2段目支保工への昇降階段の盛替え作業を行っていたところ、1段目支保工上で足場板を敷設し、それを固縛する作業に取りかかろうとしていた。作業時は雨により足元が滑りやすくなっていたが、次工程の作業を急ぐあまり足元の確認を怠り、足場板上で足を滑らせ、高さ4m下の床堀面に墜落した。	51	1	30107	10～29
43	2015	4	9～10	簡易土留材の解体時に、下部パネルの切梁材を先に撤去し連結ボルトも外してしまった為、上部パネルを吊ろうとしたところ下部パネルが回転しながら倒れ、そばにいた作業員を巻き込み被災した。	49	5	30110	10～29
44	2015	3	11～12	型枠建込み中の階段スラブ上を移動中、上部にあったサポートに頭をぶつけた。	61	3	30199	10～29
45	2015	3	16～17	建物内部、舞台吹き抜け部のコンクリートのセパ穴を補修するのに、支保工4段目に作業床を作る為、杉足場板（長4m）を支保工3段目から4段目に押し上げる作業を行っていたところ、バランスを崩し、安全帯を使用していなかった為、支保	61	1	30201	50～99

				工3段目（約5.3m）の高さから墜落した。				
46	2015	3	16～ 17	R板（床板）付のサポートのレベル調整をしようと隣の水平 継に移ろうとした時にバランスを崩して墜落した。その時直 下の単管を避けようとして根がらみ轡にかかとを強打した。	42	1	30201	10～ 29
47	2015	2	14～ 15	図書館棟屋上ハト小屋スラブ配筋時鉄筋を切断しようとし型 枠に足を掛けたところ残雪があり足を滑らせ、1.5m下のコ ンクリートに転落し右手首を強打した。	61	1	30201	1～9
48	2015	2	9～ 10	作業場内において、作業場整理作業中、作業場の天井の補強 のため、天井と床を押さえていたパイプサポートに触れた 処、突然パイプサポートが倒れて来た為あわてて逃げようと したが逃げ切れず胸付近にパイプサポート及び材料に当り負 傷その際左足も挫いた。	39	5	30209	1～9
49	2015	1	17～ 18	基礎配筋時、鉄筋配筋中に柱を支えているサポートに引っか かりサポートが外れ、被災者の右足に倒れかかった。	28	6	30201	1～9
50	2015	1	14～ 15	地中梁の型枠工事中に鋼管の締付け作業が完了したため、別 の場所へ移動しようとした。締付け鋼管に足を掛け昇ろうと した時下から3段目の鋼管（床から約1.4m）で足をすべらせ て転倒した。	68	1	30201	10～ 29
51	2015	1	13～ 14	オープンシールド工法にて軟弱層置換の裏込め1次注入工作 業前の鋼製型枠を設置作業中に被災。止め枠は3分割になっ ており、1個目の枠（止水バー）はシールド機内に設置完 了。2個目の枠（プレスバー）設置作業中に1個目の枠に接触 して倒れ挟まれた。	54	5	30110	1～9
52	2015	1	14～ 15	M2階の型枠工事中、水平スリットの取付シール打ちの作業 で支保工足場を移動する際、ブレースをはずし、下棧に足を 掛け渡ろうとし下棧がはずれ足をすくわれる形で落下した。	18	1	30201	100～ 299
			11～	工事の橋脚で土留支保工の腹起しを撤去する作業中に腹起し				

53	2015	1	12	にワイヤーをかけ、吊る前にボルトを外した為、腹起しと共に地面に落下し、右大腿骨頸部を骨折した。	50	1	30105	1～9
54	2014	12	11～ 12	基礎コンクリート打設作業中、基礎柱の上でバイブレーターを掛けていた被災者は、ポンプ上からバイブレーターを貸して欲しいと言われ渡した時、バランスを崩し左足が染鉄筋の間に落ち左足が挟まったまま転落し被災した。	35	1	30201	10～ 29
55	2014	11	13～ 14	床ならしのため、堀穴へ入り矢板を押さえている腹起しに足をかけたところ、足を滑らせ転倒し、右手首を骨折した。	51	2	30110	10～ 29
56	2014	10	11～ 12	RC一部S造五階建ての建築物の3階梁底支保工解体作業をするために職長と同僚2人とともに作業を開始、同僚二人が直立していた支保工を取り外していき、最後の1本が斜めにかい直した状態にしていた。被災者がすでに外してあった支保工材料で斜めにかけてある支保工の足元をつついた際、被災者側に支保工が倒れて来て右肩鎖骨にあたり骨折した。	48	4	30201	50～ 99
57	2014	10	9～ 10	地下において型枠解体工の被災者が同僚とスラブ型枠解体作業中、高所作業車を使って型枠解体をしていたが、地上でパイプを受け取る役をしていた被災者に向かってサポートが倒れ被災者にぶつかった。	56	4	30201	30～ 49
58	2014	9	9～ 10	現場から回収してきた型枠の整理作業で積まれていた型枠に乗った際、型枠が傾いていたため型枠から滑り落ち、地面に足を着いた時に左足首を捻挫した。	21	1	30107	10～ 29
59	2014	9	11～ 12	3階スラブ型枠の根太鋼管（アルミ製）を梁型枠上に乗り敷き並べる際、既に並べた鋼管が滑り、2階スラブコンクリート上に約2.2m墜落した。圧迫骨折と診断された。	64	1	30201	0
60	2014	9	9～ 10	仮囲いの中で土止め作業中に、万能鋼板が結束不足によりすべり落ち、右腕に当たった。	45	4	30201	30～ 49
			12～	3階床スラブ型枠を組み立て中、梁側枠上を移動しようとし				

61	2014	7	13	たがバランスを崩し、大引鋼管に足を掛けたがパイプサポートが折れ、約2.6m下のコンクリート床に墜落した。	63	1	30201	1～9
62	2014	7	9～ 10	共同住宅新築工事現場にて下がり壁の外部返し枠を取り付ける際、親網用の建地パイプが型枠取付部にあったため外そうとして、フォームタイを締めた瞬間、建地パイプが滑り落ちてきて、建地パイプについていたクランプと1階床の間に右手示指が挟まれ、骨折した。	21	4	30201	1～9
63	2014	6	22～ 23	工場作業場にて、コンクリート型枠に乗り、バイブレターをかけ降りようとしたところ、型枠に左足を引っ掛けバランスを崩し、バイブレターを持ったまま飛び降り、着地の際右足首を捻挫した。	27	1	10901	10～ 29
64	2014	6	13～ 14	2階スラブ上において、3階床PC版の支保工解体中にサポートが倒れ、資材を集積していたAの右前頭部に当たり、その衝撃でその場に転倒した。	61	5	30201	1～9
65	2014	4	16～ 17	1階で型枠組立中、棧の型枠を登ろうと足をかけたところ、足を滑らせ約2mの高さからコンクリートの床に墜落し負傷した。	61	1	30201	10～ 29
66	2014	4	10～ 11	ダクト配管作業において、Aが立馬から降りた際に、設置していたパイプサポートに当たりBの方へ倒れ、Bの顔面に接触し鼻を骨折した。	23	5	30201	1～9
67	2014	3	8～9	型枠解体作業中、解体材運搬の為、サポートを撤去し、それに気付かず図の位置に登り落下した。	56	1	30201	10000 ～
68	2014	2	10～ 11	工場内で躓き転びそうになり型枠に腰をぶつけて右ひざを挫創しあ t。	62	3	10901	10～ 29
69	2014	1	11～ 12	港湾防波堤工事でコンクリート打節用の鋼製の型枠（サイズは数種類）組立時、ほぼ組み立っていたコンクリート打設用の鋼製の型枠（10m×0.8m）が、転倒防止用のサポー	67	5	30111	10～ 29

				トの固定が不完全だったため、組立作業中の従業員の下半身に倒れ下敷きになった。				
70	2013	12	11～ 12	大引材（90x90、端太角）の上に根太パイプを並べる作業中、鉄筋上を歩行した際、根太パイプに接触し、転落した。	58	4	30201	10～ 29
71	2013	11	14～ 15	新築工事にて、高所での移動中、誤って転落し、肋骨を骨折した。	59	1	30201	1～9
72	2013	11	10～ 11	スラブ型枠の撤去作業中、最後のスラブ受サポートの止めピンを引き抜く際、バランスを崩し、引いたチェーンに手小指を引っ掛け、負傷した。	59	7	30201	1～9
73	2013	11	17～ 18	3階型枠スラブ上にて、作業進行状況の確認作業中、跳ね出たベニヤに乗った為、2階の床へ落下した。	32	1	170101	1000 ～ 9999
74	2013	11	9～ 10	足場上(高さ約4.2m)にて、移動しようとした際、バランスを崩し、足場外側の単管パイプを掴んだところ、単管パイプが動いた為、足場筋交いの隙間から飛び降りた。	22	1	30201	10～ 29
75	2013	11	11～ 12	型枠の清掃作業中、型枠の外に出ようと足を引掛けたところ、型枠の外(段差25cm)に前のめりに転倒した。	55	2	10909	30～ 49
76	2013	10	11～ 12	足場の上にて、コンクリートを型枠受梁(H鋼)の間にバールで差し込んだ際、型枠が外れた為、バールを滑らせ、バランスを崩し、ゲビンデ固定用ナットの上にあるプレートと型枠受梁の間に指が挟まった。	35	3	30105	10～ 29
77	2013	10	16～ 17	5段に積み重くなった鉄の型枠(全部で高さ1m)の上に乗る、両端からそれぞれブルーシートを掛け、型枠の中央付近から降りようとしたところ、踏み外し、落下。型枠の脇に置いてあったコンクリートの筒(半径15cm、高さ30cm)に脇腹を強打した。	32	1	10901	1～9
				2階から3階への外部階段の建て込み中、2階スラブからの階				

78	2013	9	9～ 10	段の定着筋の揚げ込みを行っていた際、下の踊り場で作業していた同僚が仮設手摺に立てかけた仮置きしていたスラブ用サポートが倒れ、作業中の定着筋に当たった為、反動で鉄筋を握っていた手の人差し指に挫創を負った。	38	5	30201	10～ 29
79	2013	8	15～ 16	排水管布設箇所にて、型枠の上に足を乗せ反対側に渡ろうとした際、足を踏み外し、転倒した。	36	2	30110	10～ 29
80	2013	8	14～ 15	11階の梁底を解体していた際、バールにて梁底の型枠を煽ったところ、型枠が足甲に落下。足骨を骨折した。	59	4	30201	50～ 99
81	2013	8	11～ 12	梁をレッカーで吊り上げ、4階床梁に掛ける作業中、3.5m-4m上に上げた際、梁が柱の枠にぶつかり、梁を吊ったベニヤの根本が抜け、梁が落下。枠材が被災者に当たった。	37	6	30201	10～ 29
82	2013	7	9～ 10	縦端太鋼管の撤去作業中、鋼管で指を挟んだ。	50	4	30106	1～9
83	2013	7	8～9	床スラブ用型枠(フラットデッキ：厚=0.8mm、リブ幅=100mm、長さ=2600mm)上にて、フラットデッキが倒壊し、高さ3.8mから被災者ら複数名が転落した。	18	5	30201	100～ 299
84	2013	7	16～ 17	遊水地上部の配管ピットのスラブ型枠を施工中、目の前の根太パイプに足を掛けたところ、大引材により跳ね出ていた為、天秤状態になり、遊水地のスラブ(土間コンクリート)上に墜落した。	59	1	30201	10～ 29
85	2013	7	16～ 17	基礎コンクリート打設作業中、足場から約2m下の根切底へ下りようと型枠サポートに足を掛けたところ、型枠サポートがずれ、約1m落下。フォームタイの先端で足を切傷した。	38	8	30201	30～ 49
86	2013	7	9～ 10	仮囲い(単管パイプ)解体の為、上部の単管クランプを外していた際、地面に飛び降りたところ、道路側溝上に着地し、踵を骨折した。	44	3	30201	10～ 29
			9～	倉庫内の片付け中、サポートを移動する際、サポートが縮				

95	2013	3	18～ 19	山留材2枚目の施工中、ピース材と腹起しとの間の隙間を調整しようと腹起しの上に立ち、端部に大バールを掛け、腹起しを移動させようとした際、大バールが外れ、反動で1m下の床版面に落下。マンホール副管の巻立てコンクリートに踵を打ちつけ、骨折した。	56	1	30110	10～ 29
96	2013	2	18～ 19	ハト小屋型枠建込み完了後の片付けを行っている際、ハト小屋内部から出ようとしたところ、転倒した。	75	2	30201	1～9
97	2013	1	10～ 11	水平つなぎパイプ上に作業板として足場板を敷き、作業中、被災者は足場板を敷いていない部分の金物を取付けようと、水平つなぎパイプ上を横移動したところ、足を滑らせ、墜落。足を負傷した。	28	1	30201	1～9
98	2013	1	11～ 12	排水路工事現場にて、休憩中、建てかけてあった板が倒れそうだった為、手で押さえようと体のバランスをくずし、アスファルト塗装道路上に転倒。手中指を挟まれ、負傷した。	44	5	30110	1～9
99	2012	12	14～ 15	全員で型枠組立をしていた所、他の作業員が、脱型した方にて、ネジを外した為、型枠が傾き、これを被災者が、一人で押さえた為、打撲した。	72	5	30106	1～9
100	2012	12	14～ 15	工事現場にて、掘削・土留作業中、鋼矢粘を土中に下げる作業過程で、吊チェーンが上がり、側の水圧ジャッキが外れ、倒れてきた矢板に、準備作業中の作業員が、胸部を挟まれた。	35	5	30110	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。